

### 資料3. 認定基本計画の事業の進捗状況等

認定基本計画の87事業の進捗状況、事業実績・効果等を整理すると次の通りです。

#### (1) 市街地の整備改善のための事業

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
1.複合駅舎施設 (H17~20年度)	岩見沢市	平成12年に焼失した岩見沢駅舎を駅機能と市施設機能を併せ持つ複合駅舎施設として整備する。市施設は、市民サービスセンター、市民ギャラリー、物産展示販売、観光・イベント情報の提供を行い、交通結節点機能の強化と、交流機能を高める事業である。	まちづくり交付金	【完了】 整備は完了し、サービスセンターを除く年間利用者は19,748人(平成23年度)と、目標とした10,000人を大きく上回り、歩行者通行量の増加に寄与した。
2.複合駅舎等開設活性化事業 (H20~21年度)	岩見沢市、北海道教育大学岩見沢キャンパス、岩見沢レンガプロジェクト	複合駅舎の情報拠点（I-Box）を中心に、市民、学生、行政それぞれが持つ芸術・スポーツに関する情報を一元化して発信する。また、開設記念イベントや複合駅舎を核としたまちづくりシンポジウム・展覧会等を開催し、市民のまちづくり参加意識の啓発や地域資源の再発見につなげる事業である。	まちづくり交付金	【完了】 事業は完了し、その後、平成23年からは、市民団体（いわみざわ駅まる。）による駅と鉄道の魅力再発見、新たな情報発信事業等が開催されている。また、平成24年度には“観光物産拠点センターiWAFO”が設置され、観光案内、物産品の販売が行われている。今後とも、交流機能や情報発信機能を高めていく活動を継続していく必要がある。
3.有明連絡歩道 (H17~20年度)	岩見沢市	函館本線を挟み南北に分断された市街地を、自由通路の整備により交通アクセス性の向上を図り、中心市街地に人を呼び込む事業である。	まちづくり交付金	【完了】 有明連絡歩道の利用者は平成21年度調査で562人と、計画した508人を上回った。しかし、中心市街地の大規模小売店舗の撤退や空き店舗の増加等による商業環境の魅力減少が影響し、中心市街地への回遊は計画を下回った。

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
4.有明北盛通 (H17～21年度)	岩見沢市	駅北側の駅前広場の整備及び自由通路につながる道路整備を行い、まちなか回遊を高める事業である。	まちづくり交付金	【完了】 事業は完了し、駅北側の居住者の利便性は高まった。今後、駅北の土地利用促進と、中心市街地の魅力向上により、まちなか回遊へとつなげる必要がある。
5.有明北盛通/高質空間形成 (H17～21年度)	岩見沢市	有明北盛通の歩道や駅北駅前広場の修景を行うなど快適な歩行者空間の整備を行い、まちなか回遊を高める事業である。	まちづくり交付金	【完了】 事業は完了し、駅北側の居住者の利便性は高まった。今後、駅北地区画整理事業の土地利用の促進と、中心市街地の魅力向上により、まちなか回遊へとつなげる必要がある。
6.東自転車駐車場 ・駅北自転車駐車場 (H19～20年度)	岩見沢市	岩見沢駅周辺には通勤・通学者による自転車が約 1,400 台駐輪されており、自転車駐車場を整備することで中心市街地の交通環境を整え、中心市街地での交流と賑わいづくりに寄与する事業である。	まちづくり交付金	【完了】 整備された自転車駐車場は、駐車可能台数一杯に利用されており、駅周辺の交通環境の向上や景観形成に効果をあげている。
7.市道 3 条線 (H18～21年度)	岩見沢市	中心市街地商業業務集積地区において、道路改良を実施し、暮らし環境の充実を図り、まちなか居住の促進に寄与するとともに、来街者の回遊性を高める事業である。	まちづくり交付金	【完了】 事業は完了し、商店街を利用する歩行環境が改善された。
8.市道 3 条線/高質空間形成 (H18～21年度)	岩見沢市	中心市街地商業業務集積地区において、道路改良を実施し、暮らし環境の充実を図り、まちなか居住の促進に寄与するとともに、来街者の回遊性を高める事業である。	まちづくり交付金	【完了】 デザイン照明や案内標識が整備され、街並み景観の向上、来街者の利便性向上に効果があった。

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
9.岩見沢駅北土地区画整理事業 (H18～23年度)	岩見沢市	有明連絡歩道や有明北盛通の整備と連動し、隣接する土地を有効活用する土地区画整理事業を実施する。事業により利用可能となった市有地に情報関連施設や住居系施設の立地を誘導する事業である。	まちづくり交付金	【完了】 市有地への市営住宅の建設により 93 人が入居し、居住者人口の増加に効果があった。また、データセンターが整備され、平成 25 年 5 月から供用開始されている。しかし、それら以外の土地利用が進んでいないことから、民有地などの土地利用を促進していく必要がある。
10. 有明元町通他区画道路/高質空間形成 (H20～21年度)	岩見沢市	土地区画整理事業区域内の区画道路の修景整備により、暮らし環境の充実を図る事業である。	まちづくり交付金	【完了】 事業は完了し、地区の景観向上に効果があった。
11.上下水道整備・宅地整備・土壌改良 (H19～21年度)	岩見沢市	土地区画整理事業区域内の都市基盤整備を行い、暮らし環境の充実を図る事業である。	まちづくり交付金	【完了】 事業は完了し、地区の都市基盤の形成が図られた。
12.岩見沢駅北土地区画整理事業 (H18～23年度)	岩見沢市	有明連絡歩道や有明北盛通の整備と連動し、隣接する土地を有効活用する土地区画整理事業を実施する。事業により利用可能となった市有地に情報関連施設や住居系施設の立地を誘導する事業である。	土地区画整理事業	【完了】 市有地への市営住宅の建設により 93 人が入居し、居住者人口の増加に効果があった。また、データセンターが整備され、平成 25 年 5 月から供用開始されている。しかし、それら以外の土地利用が進んでいないことから、民有地などの土地利用を促進していく必要がある。
13.3・4・10駅前通整備事業 (H21～28年度)	北海道	都市軸、緑の骨格軸として位置づけられる駅前通の歩道拡幅、電線類地中化により、ゆとりと魅力ある歩行空間を創出する事業である。	社会資本整備総合交付金	【着手済】 事業は着手済みで、現在、補償協議と沿道建物の建て替えが進められている。街路と沿道街区のまち並み整備により、まちなか回遊の向上が期待されている。

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
14.電線類地中化事業 (H21～28年度)	岩見沢市	1条通り西6丁目区間において電線類の地中化を行い、高齢者や車椅子利用者等の円滑な歩道空間の確保を行う事業である。		【着手済】 事業は着手済みで、快適な通り空間の形成により、暮らし環境の充実と来街者の回遊性向上が期待されている。
15.中心商店街道路整備事業 (H22～24年度)	岩見沢市	商業業務集積地区の市道2条線の歩道整備、バリアフリー化を行う事業である。		【完了】 当初予定していた市道2条線に替わり、ポルタビルの再生整備に伴って周辺道路の整備必要性が高まった市道西3丁目線（3条通り～4条通り間）の整備を行い、買物等における快適性向上に効果があった。
16.駅前通整備事業 (H21～28年度)	岩見沢市、 岩見沢駅前 通りまちづくり運営委員会	駅前通の拡幅整備に合わせ、歩道照明や案内標識、ロードヒーティングの整備等を行うとともに、沿道景観の形成を図る事業である。		【着手済】 沿道関係者による景観形成ルールを導入と協定締結、市の地区計画導入が行われ、街並み景観形成が図られようとしている。
17.中心商店街歩道バリアフリー化事業 (H19～21年度)	岩見沢市	商業業務集積地区内の市道西4丁目線他に、点字ブロックを設置する事業である		【完了】 安全・安心な歩行空間が確保され、まちなか環境の形成に効果をあげている。
18.ばらのまち推進事業 (H17年度～)	岩見沢市、 「ばらのまち・いわみざわ」推進協議会	市の花である「ばら」による都市緑化と管理育成、啓発活動を行い、魅力ある都市環境の創出を図る事業である。		【実施中】 地域の人々や各種団体の参加と協働により、「ばら」を核とした岩見沢らしい景観や環境を形成し、まちなか活性化に効果があった。
19.4・3地区ポケットパーク設置事業 (H20年度)	(株)UV1	平成19年度に整備された4・3地区の敷地内に、ギャラリーのあるポケットパークを整備する事業である。		【完了】 敷地内に整備されたマンションには北海道教育大学の学生も多く居住しており、ギャラリーでは学生の作品展示等も行われるなど、活性化に効果があった。

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
20.利根別川千本桜 並木道の守り育て (H3年度～)	岩見沢市、 利根別川を きれいにす る市民の会 、地域住民	「利根別川クリーング リーン作戦（清掃・花 植え）」を実施すると ともに、市民の会による 桜の育成管理、沿線住 民による草刈り、岩見 沢農業高校の生徒によ る枯れ木の植え替え等 の協力を得る事業であ る。		【実施中】 「利根別川クリーング リーン作戦」は、市民 の春のイベントとして 定着してきた。また、 並木道は市民の散策や ジョギングコースとな っている。ごみが散乱 し川遊び等ができな かった利根別川が市民 にとって身近な存在と なり、中心市街地の活 性化に効果があった。
21.幾春別川サケの 遡る川づくり (H5年度～)	岩見沢市、 幾春別川を よくする市 民の会	幾春別川を緑の回廊と する植樹、サケの稚魚 放流、環境美化運動を 実施する事業である。		【実施中】 幾春別川の清流に魚が 泳ぎ、親しみと潤いの ある川にする活動を行 うことで、中心市街地 の快適な暮らし環境づ くり貢献している。
22.中心商店街除排 雪事業 (S62年～)	岩見沢中心 商店街除排 雪協議会	北海道、岩見沢市、各 商店街、町内会が負担 金を供出し、中心市街 地のモデル地域におい て歩車道の雪を完全に 取り除く事業である。		【実施中】 地域住民の理解と協力 のもとで、官民一体と なり事業が進められ、 冬の安全で快適な市民 生活の確保、商店街の 回遊性向上に効果をあ げている。

## (2) 都市福利施設を整備する事業

事業名 (実施時期)	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
23.4・3地区再開発事業 (H19年度)	(株)UV1	ナカノタナ市場の跡地を再開発し、公益施設(岩見沢市ワークプラザ)、入居者専用音楽スタジオ、賃貸住宅を整備する事業である。	暮らし・にぎわい再生事業	【完了】 シルバー人材センターの機能拡充を行った岩見沢市ワークプラザは、整備前の平成19年度の年間利用者が11,722人であったのに対し、整備後の平成23年は15,954人と効果をあげた。また、賃貸住宅は、学生向け24戸、ファミリー世帯向け13戸、高齢者・独身世帯向け10戸の計47戸が供給され計画通り66人が入居し、居住者増に効果があった。
24.4・3地区再開発事業 (H19年度)	(株)UV1	同上	街なか居住再生ファンド	【完了】 同上
25.シルバービレッジ建設事業 (H24～25年度)	特定目的会社	まちなか居住者の共同の福祉に対応するグループホームと介護付き高齢者住宅を整備する事業である。	社会資本整備総合交付金	【未着手】 介護保険事業計画への位置づけがなされず、施設整備は未着手の状況にある。
26.ラルズ跡地活用事業 (H21～22年度)	岩見沢市	ラルズ跡地の空き地を活用し、民間事業者が行う共同店舗、駐車場等の整備にあわせ、市で不要施設の除却、広場、複合施設敷地を整備し、イベント広場、市民の憩いの場、賑わい空間を整備する事業である。	暮らし・にぎわい再生事業	【完了】 整備された共同店舗や無料休憩所の年間利用者は、計画値の16,000人を上回り42,000人を超えた。また、店舗では30人の雇用も実現した。広場では様々なイベントが開催され、集客の核として機能しはじめている。
27.ポルタビル再生事業 (H23～24年度)	岩見沢市	大規模小売店舗の撤退したポルタビルは、賑わいの創出に重要であるとの判断から、市で同ビルを購入、改修工事を行い、商業施設、公共公益施設、業務施設として再生する事業である。	暮らし・にぎわい再生事業	【着手済】 平成24年4月にポルタビルは「であえーる岩見沢」としてオープンした。商業施設や公共公益施設等も入居し、イベント等も開催されるなど賑わいを見せはじめている。今後さらに、交流機能の充実、空き床の解消などを図る必要がある。

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
28.生涯学習センター整備事業 (H21～24年度)	岩見沢市	空知婦人会館、岩見沢市勤労青少年ホーム、岩見沢市働く婦人の家の3館の機能に加え、武道場の機能などを追加して、新たな生涯学習活動に対応する施設として整備する事業である。	暮らし・にぎわい再生事業	【着手済】 平成25年4月に施設は「愛称：いわなび」としてオープンした。利用者も3館時代より増加しており、まちなかの賑わいづくりに効果をあげはじめている。
29.イベントホール・広場活用事業 (H21年度～)	(株)振興いわみざわ	イベントホール赤れんが、駅東市民広場公園を活用し、様々なイベントを定期的に関催することで、中心市街地の賑わい形成を図る事業である。		【実施中】 いわみざわ情熱フェスティバル、いわみざわ彩花まつり、ドカ雪まつりなどのイベントが開催され、まちなかの賑わい形成に効果をあげている。
30.生涯学習センター活用事業 (H25年度～)	岩見沢市	整備された生涯学習センターを活用し、様々なイベントや展示・発表会などを開催し、まちなかの賑わい形成を図る事業である。		【着手済】 平成25年4月にオープンした施設を活用し、料理教室、健康講座、コンサートなどを開催している。同年11月には岩見沢市開基130年・市制施行70周年を記念した岩見沢市生涯学習センター祭りも実施されるなど、まちなかの賑わい形成に効果をあげはじめている。

(3) 住宅の供給のための事業・居住環境の向上のための事業

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
(再掲)4・3地区再開発事業 (H19年度)	(株)UV1	ナカノタナ市場の跡地を再開発し、公益施設（岩見沢市ワークプラザ）、入居者専用音楽スタジオ、賃貸住宅を整備する事業である。	暮らし・にぎわい再生事業	【完了】 シルバー人材センターの機能拡充を行った岩見沢市ワークプラザは、整備前の平成19年度の年間利用者が11,722人であったのに対し、整備後の平成23年は15,954人と効果をあげた。また、賃貸住宅は、学生向け24戸、ファミリー世帯向け13戸、高齢者・独身世帯向け10戸の計47戸が供給され計画通り66人が入居し、居住者増に効果があった。
(再掲)4・3地区再開発事業 (H19年度)	(株)UV1	同上	街なか居住再生ファンド	【完了】 同上
(再掲)シルバービレッジ建設事業 (H24～25年度)	特定目的会社	まちなか居住者の共同の福祉に対応するグループホームと介護付き高齢者住宅を整備する事業である。	社会資本整備総合交付金	【未着手】 介護保険事業計画への位置づけがなされず、施設整備は未着手の状況にある。
31. 中心市街地活性化補助金 (H17年度～)	岩見沢市	中心市街地活性化区域内で実施される賃貸住宅等の建設や景観整備事業、イベント等に対して市が事業費の一部補助を行う事業である。	社会資本整備総合交付金	【実施中】 事業の実施により、中心市街地の都市機能の増進及び経済活力の向上に効果があった。
32. 中心市街地空き店舗・空き家・空き地対策窓口事業 (H24年度～)	岩見沢市	中心市街地内の空き店舗や空き家及び空き地の利活用のための相談窓口を設置し、調査・紹介・地主への家賃引き下げ交渉・補助金の受付を行う事業である。	社会資本整備総合交付金	【実施中】 平成25年5月に「ここさー@空店舗」として窓口が設置され、中心市街地の空き店舗の解消や従業員の増加、歩行者通行量増加に効果をあげはじめている。
33. 市営住宅整備事業 (H21～23年度)	岩見沢市	岩見沢駅北土地区画整理事業区域内に市営住宅を建設し、中心市街地の居住人口増加に寄与する事業である。	社会資本整備総合交付金	【完了】 土地区画整理事業区域内の市有地に50戸の市営住宅が整備された。93人が入居し、中心市街地の居住人口増加に効果があった。



事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
34. 3・5地区マンション事業 (H22年度～)	民間事業者	民間事業者による賃貸マンションを建設する事業で、中心市街地の居住人口増加に寄与する事業です。	社会資本整備総合交付金	【着手済】 事業主体である民間事業者の計画に変更が生じたため着手が遅れていましたが、実施設計は完了しており、平成27～28年度には建築される予定である。
35. 1・2地区賃貸住宅整備事業 (H17～19年度)	(株)ハリカ	1階に店舗、5階に店舗経営者の住戸2戸、2～4階に15戸の賃貸住宅を整備する事業である。	市活性化補助金	【完了】 計画ではファミリー層の利用を想定していたが、単身世帯の入居が多く、入居者数は計画より下回った。しかし、15戸の賃貸住宅には20人が入居し、居住人口の増加に効果があった。
36. 7・8地区賃貸住宅整備事業 (H23年度)	個人事業者 (南原考之)	木造2階建ての賃貸住宅2棟(3LDK2戸、1LDK6戸)を整備する事業である。	市活性化補助金	【完了】 計画通り事業は完了し、居住人口増加に効果があった。
37. 一戸建て賃貸住宅家賃保証事業 (H19年度～)	(有)リフォテックス(エイブルネットワーク岩見沢店)	郊外から中心市街地へ転居する場合、郊外の戸建て住宅を借り上げ、家賃を一定程度保証する事業である。		【実施中】 事業は実施中で、居住人口の増加に効果をあげている。
38. マチ住まい情報提供事業 (H20年度～)	マチ住まい倶楽部実行委員会	中心市街地への住み替えを検討している人を対象に、物件情報の提供やまちなか居住に関する勉強会等を開催し、まちなか居住を促進する事業である。		【実施中】 まちなか住まいの情報提供を行い、居住人口増加に効果があったが、勉強会の成果として検討したコーポラティブ住宅の建設は実現に至らなかった。
39. 1・1地区賃貸住宅整備事業 (H22年度)	(有)興栄ビル	1階を駐車場とし、2～4階に6戸の賃貸住宅を整備する事業である。	市活性化補助金	【完了】 事業は完了し、居住人口増加に効果があった。

#### (4) 商業の活性化のための事業

事業名 (実施時期)	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
40.大規模小売店舗立地法の特例区域の設定要請 (H21年度～)	岩見沢市	中心市街地の核施設であるポルタビルの増改築等に機動的に対応するため、大規模小売店舗立地法の手続きの簡素化を図る特例区域の設定を北海道に要請する。	大規模小売店舗立地法の特例	<b>【実施中】</b> ポルタビルは「であえーる岩見沢」としてオープンし、その1階にこの特例によりAコープが出店し、まちなかの賑わい形成に効果があった。
41.ラルズ跡地活用事業 (H21～22年度)	(株) ZAWA.com	ラルズ跡地を活用して、対面式のこだわり商店が集合した共同店舗、無料休憩所、ユニバーサルトイレ、カフェ、駐車場を整備し、広場ではイベントを定期的に開催するとともに、共同広告やフリーペーパーの発行を商業者や学生と連携して行う事業である。	中小小売商業高度化事業に係る特定民間中心市街地活性化事業計画の経済産業大臣認定	<b>【完了】</b> 整備された共同店舗や無料休憩所の年間利用者は、計画値の16,000人を上回り42,000人を超えた。また、店舗では30人の雇用も実現した。広場では様々なイベントが開催され、集客の核として機能しはじめている。
(再掲)ラルズ跡地活用事業 (H21～22年度)	(株) ZAWA.com	同上	戦略的中心市街地中小小売商業棟活性化支援事業費補助金	<b>【完了】</b> 同上
(再掲)ポルタビル再生事業 (H23～24年度)	岩見沢市	大規模商業施設の撤退したポルタビルは、賑わいの創出に重要であるとの判断から、市で同ビルを購入、改修工事を行い、商業施設、公益施設、業務施設として再生する事業である。	暮らし・にぎわい再生事業	<b>【着手済】</b> 平成24年4月にポルタビルは「であえーる岩見沢」としてオープンした。商業施設や公共公益施設等も入居し、イベント等も開催されるなど賑わいを見せはじめている。今後さらに、交流機能の充実、空き床の解消などが期待されている。

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
42.ぷらっとパーク 活性化事業 (H17年度～)	(株) ZAWA.com	ラルズ跡地の一部を整備した「ぷらっとパーク」を活用し、定期的にイベントを開催し、市民の中心市街地を訪れるきっかけや魅力を再発見してもらうとともに、イベントによる集客を店舗の売上増加につなげる事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 ぷらっとパークでは、広場の整備後、商店街等との連携を図りながら様々なイベント等が行われており、まちなかの活性化に寄与している。
43.ポイントカード 事業 (H18年度～)	(株) ZAWA.com	様々な業種で使うことができるポイントカードの加盟店の増加を図るとともに、加盟店へのセミナーなどを開催しながら、リピーターを増やし、店舗の売り上げと来客数の増加を図る事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 本事業は現在も実施中であり、ポイントカード利用者も増えていることから、さらに実施効果をあげるため今後も継続して取り組んでいく。
44.まちなかシャッターアート (H19年度～)	岩見沢青年会議所、北海道教育大学岩見沢キャンパス、岩見沢アートホリデイ実行委員会	商店街の店舗のシャッターにテーマ性を持った絵を描き、市民がまち歩きを楽しめるようなアート事業を展開する。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 今まで数か所において実施されたが、実施件数はまだ少ない。今後、取り組みが継続されることで、効果をあげていくことに期待したい。
45.まちなか地産地消事業 (H18年度～)	NPO法人 薔薇香る癒しのまち岩見沢	「食育」をテーマに、地場農産品を活用した特産品づくりや、岩見沢で採れた野菜などを使用した料理講習会の実施、飲食店と連携した料理の開発などを行う事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 本事業は現在も実施中であり、さらに、まちなかの活性化を進めるためにも、このようなソフト事業は今後も継続して取り組んでいく。
46.朝市事業 (H19年度～)	岩見沢商工会議所・商業者・農協とで構成された実行委員会	地元で生産された農産物（野菜、果物、花卉）を中心に、岩見沢の特産品等を中心市街地で販売を行う事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 朝市には市民が多く集まり、平成20年度からは、JAとの連携や飲食店の出店、フリーマーケットなども実施され、まちなかに人を呼び込む効果をあげている。

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
47.共通駐車券事業 （H12年度～）	岩見沢市商店街振興組合連合会	中心市街地の駐車場の利用が可能な駐車券を、買物金額に応じて配布する事業で、利用店舗の拡大を図っていく。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 市民ニーズに対応するものとして期待されている事業であるが、利用店舗のさらなる拡大が今後の課題である。
48.百餅祭り4条通り商店街協賛事業 （H18年度～）	4条通り商店街振興組合	子ども餅つきや餅をテーマにした屋台、様々なイベントなどを4条通り商店街が実施して百餅祭りの魅力向上を図り、集客性を高める事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 祭りの集客性を高める事業として、中心市街地の活性化に効果をあげている。
49.プロジェクトXmas （H15年度～）	プロジェクトXmas実行委員会	クリスマスまでの1週間、JR岩見沢駅前にあるメタセコイヤの木と1条通りから国道12号までの一部でイルミネーションを実施する事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 中心市街地のクリスマスシーズンの風物詩として、事業に参加した人同士の交流や、まちなかへ市民を呼び込む効果をあげている。
50.雪灯りイルミネーション事業 （H19年度～）	NPO法人 薔薇香る癒しのまち岩見沢	豪雪を逆手に取り、駅東市民広場公園から栄通りにかけて、イルミネーションアーチを設置することで華やかな商店街を印象付ける事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 本事業は現在も実施中であり、さらに、まちなかの活性化を進めるためにも、このようなソフト事業は今後も継続して取り組んでいく。
51.商店街コンバージョン事業 （H20～23年度）	㈱コンパクトシティ（H20）、まち住まい倶楽部実行委員会（H21～23）	家賃引き下げの協力を得た空き店舗の改修を行い、新規開業者に低家賃で貸し出す事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【完了】 空き店舗数は平成21年に91とピークとなったが、平成25年には61まで減少している。また、計画では8人の従業者増を見込んでいたが、22件（現在営業中のみ）の実績で83人の雇用が実現した。このように、空き店舗の解消と従業者数の増加に大きな効果をあげている。
52.中心市街地コンバージョン事業 （H24年度～）	岩見沢市	商店街コンバージョン事業を拡充し、空き店舗に加えて空き家の店舗への改修と、さらに空き店舗2階の賃貸住宅への改修に対しても改修費補助を行う事業である。	中心市街地活性化ソフト事業	【実施中】 現在も実施中で、まちなかの空き店舗等の解消、新たな雇用の実現に、着実に効果をあげている。

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
53.まちなかアート展開事業 （H18年度～）	NPO法人はまなすアート&ミュージックプロダクション、北海道教育大学岩見沢キャンパス、岩見沢アートホリデイ実行委員会	空き店舗や公共施設を活用して、大学生などによる絵画や音楽などの発表、建物の外壁等をキャンパスにした美術作品の作成・展示、制作ワークショップなど、市民参加型のアートイベントを実施する事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 市民のまち歩きを楽しませる美術や音楽などに関する事業の展開や、市民参加型の制作ワークショップなどの開催により、多様な人々をまちなかに呼び込む効果をあげている。
(再掲)中心市街地活性化補助金 （H17年度～）	岩見沢市	民間事業者の実施する空き店舗対策事業や景観整備事業、イベント等に対して市が事業費の一部補助を行う事業である。	社会資本整備総合交付金	【実施中】 事業の実施により、中心市街地の都市機能の増進及び経済活力の向上に効果があった。
54.4条通り活性化事業 （H22年度～）	4条通り商店街振興組合	個店の魅力を引き出し、地域コミュニティとの連携により商店街の活性化を図るため、休憩所の開設や情報発信などを行う。また、ブランド開発などを通じて、商店街の活性化を担う若手起業家・経営者の育成を行う事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 4条通り商店街は、中心市街地の活性化をめざし、様々な取り組みを展開し、まちなか活性化に効果をあげている。商店街組合員店主による匠講座や起業塾なども開催しており、市民への情報提供、起業家育成、後継者対策などに効果をあげている。
55.いわみざわ赤れんが夏祭り （H21年度～）	いわみざわ赤れんが夏祭り実行委員会	いわみざわ彩花まつりと連動し、岩見沢の農産物をはじめとする北海道物産の展示・即売、花火大会の実施、千人神輿の巡行、屋台村の設置などを行い、中心市街地の活性化を図る事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 祭りには、市民が数多くまちなかに集まり、中心市街地の活性化に寄与している。
56.展覧会・アート教室開催事業 （H21年度～）	iwamizawa90°	駅前通りのアートスペース「iwamizawa90°」において、美術工芸品の展覧会を開催し、また、月1回以上のアート教室を開催する事業である。	中心市街地活性化ソフト事業、市活性化補助金	【実施中】 多様な人々が訪れ、歩行者通行量の増加に効果をあげている。

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
57. であえーる岩見沢を拠点とした芸術文化事業及び情報発信事業（H24年度～）	NPOはまなすアート&ミュージックプロダクション	であえーる岩見沢の多目的ホールや交流空間を活用し、市民参加型のコンサート、人形劇、美術系ワークショップ等芸術文化活動を実施するとともに、市内外で行われるアート事業、コンサート・展覧会、演劇公演等の芸術文化事業等の情報発信を行う事業である。		【実施中】 であえーる岩見沢では、NPO法人により、ホールをはじめ各階に整備された交流空間を活用し、イベントやコンサートなどが企画・開催され、同施設がまちなかの交流施設として機能しはじめている。
58. 商業業務集積地区活性化事業（H24年度～）	岩見沢市	であえーる岩見沢の交流機能の充実、人材育成活動など、ロの字回廊を中心とした中心市街地活性化事業への支援を行う。	社会資本整備総合交付金	【実施中】 事業実施により、市民団体や商店街等の活動が活発化してきており、まちなか活性化に効果をあげている。
59. 3・3地区整備事業（H25～27年度）	商店街、民間事業者	空き地や空き店舗を整理して、小売や飲食等の共同店舗や平面駐車場を整備する事業である。		【未着手】 地権者との合意形成に時間を要し未着手の状況にあり、現時点においては当初見込んだ効果を得ることができていない。
60. 1・6地区再開発事業（H21年度～）	岩見沢1・6地区市街地再開発組合	駅前通りの拡幅整備にあわせて、通りの拠点施設として1階に店舗等、2階以上を事務所等とする建築物の整備を行う事業である。		【未着手】 駅前の拠点施設として、再開発ビル建設を目指していたが、地権者間の合意形成が遅れ、組合としての実施は見送られた。
61. 宿泊施設等整備事業（H22～23年度）	ランドシステム(株)	中心市街地にビジネス客が宿泊できるリーズナブルな価格のホテル整備を行う事業である。	市活性化補助金	【完了】 不足する町中のビジネスホテルが建設され、まちなかの活性化に寄与している。
62. 複合ビル新築事業（H20年度）	(株)ライズ	JR 駅前に5階建ての店舗と事務所の用に供するビルを建設する事業である。		【完了】 ビルの整備により、事務所や歯科医院等が入居したことで、従業員の増加や歩行者通行量増加に効果をあげている。

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
63.無料休憩所運営事業 (H17年度～)	株ZAWA.com	ラルズ跡地を活用して整備した無料休憩所は、買物客が気軽に休憩できるとともに、まちおこし団体の事務所や会合等に活用されている。また、子育てを応援するカフェとして活用されている。		【実施中】 同施設は、ぷらっとパークとともに活用されはじめており、まちなか活性化に寄与している。
64.協同広告事業 (H18～21年度)	株ZAWA.com	中心市街地の小売業者の協同広告を、カレンダー、救急当番医などとともに掲載し、月に1度発行する事業である。		【完了】 まちなかに人を呼び込む事業として一定の効果をあげていたが、広告による情報発信に替わり、インターネット等による情報発信を展開したことで、平成21年度に事業は完了している。
65.年末年始大売り出し事業	4条通り商店街振興組合、栄通り商店街振興組合	年末年始の大売り出しを実施し、まちなかに人を呼び込み、地元商店街の営業意欲の啓発につなげる事業である。		【実施中】 事業は継続して行われており、商業活性化に効果をあげている。
66.駐車対策事業 (H22年度～)	岩見沢市	中心市街地における駐車問題に対応し、中心市街地を訪れやすい環境とする事業である。		【実施中】 駐車対策は市民要望も高いが、調査・検討段階であり、今後の対策が必要となっている。
67.共通商品券事業 (H21年度～)	岩見沢市商店街振興組合連合会	物品販売だけではなく、中心市街地の様々な業種が利用できる共通商品券を発行する事業で、共通駐車券事業とも連携させる。		【実施中】 事業は継続して行われており、商業活性化に効果をあげている。
68.まちなか清掃事業 (H19年～)	岩見沢若手会(H19～20)、株ZAWA.com(H21～)	月1回、店舗や歩道、アーケードの清掃を行う事業である。		【実施中】 まちなかの快適な環境を提供する事業として、まちなか活性化に効果をあげている。

事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
69.いわみざわ彩花まつり (S52年～)	いわみざわ彩花まつり実行委員会（岩見沢商工会議所）	バラ園、あやめ公園の花々の鑑賞時期にあわせて、中心市街地で観光踊りパレードなど、イベントを実施する事業である。		【実施中】 事業は毎年継続して行われており、まちなか活性化に効果をあげている。
70.ふるさと百餅祭り (S58年～)	ふるさと百餅祭り実行委員会（岩見沢市商店街振興組合連合会）	商業の中心である4条通り、栄通りで、大白餅つき、長寿餅まき、百餅市(露店)を開催する事業である。		【実施中】 事業は毎年継続して行われており、まちなか活性化に効果をあげている。
71.いわみざわ情熱フェスティバル (H18年～)	いわみざわ情熱フェスティバル実行委員会（岩見沢市、J Aいわみざわ）	地元農産物や加工品の販売や地元企業の製品紹介を行い、岩見沢を市内外にPRする事業である。		【実施中】 事業は毎年継続して行われており、まちなか活性化に効果をあげている。
72.ハッピーレインボウプロジェクト (H22年度～)	ハッピーレインボウプロジェクト	月に1回、朝市など他のイベントと連携して、幼児から高齢者まで参加できるイベントを実施している。	市活性化補助金	【実施中】 事業は継続して実施されており、まちなか活性化に効果をあげている。
73.ディスコ祭り (H16年度～)	岩見沢商工会議所青年部	年1回、カリスマDJの協力を得て、巨大ディスコを再現する事業である。	市活性化補助金	【実施中】 イベントホール赤れんがにおいて毎年実施されており、まちなか活性化に効果をあげている。
74.ポルタビル再生にともなう賑わい創出事業 (H23年度～)	民間事業者、商店街振興組合等	ポルタビルの管理運営を行う民間事業者が、テナント会や商店街と連携して、イベントや売り出しなどのソフト事業を展開する。		【実施中】 であえーる岩見沢として生まれ変わったポルタビルの再生に向け、各種のソフト事業が実施されており、まちなか再生に効果をあげている。
75.ご当地グルメ「岩見沢バーガー」普及事業 (H24年度～)	岩見沢バーガー普及委員会	岩見沢市の食材（米粉、鶏肉、玉ねぎ等）を利用したこだわりのご当地バーガーの店舗販売やイベントを中心市街地で実施する事業である。	市活性化補助金	【実施中】 事業は継続して実施されており、地域のPR、まちなか活性化に効果をあげている。
76.岩見沢バンドサークル事業 (H24年度～)	(株)北海道教育楽器	若年者から高齢者まで幅広い層を対象に、であえーる岩見沢での大規模ライブ、市内ライブスポットでの小規模ライブ、音楽セミナー等を開催する事業である。	市活性化補助金	【実施中】 事業は継続して実施されており、音楽を通じて、まちなか活性化に効果をあげている。



事業名（実施時期）	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
77.いわみざわ駅まる。 (H23 年度～)	岩見沢市観光協会	岩見沢市観光振興ビジョンを踏まえ、岩見沢複合駅舎を核に、岩見沢市が持つ観光資源に新たな可能性を見出して地域の活性化を実現するため、様々なイベントやセミナー等を実施する事業である。		【実施中】 実行委員会により、岩見沢複合駅舎を中心に平成23年度から毎年実施されており、岩見沢の歴史や魅力の発信に効果をあげはじめている。
78.商店街後継者対策事業 (H24 年度～)	岩見沢市	中心市街地への若者回帰、後継者対策を実施する事業である。		【実施中】 平成24年度は、4条通り商店街振興組合が市の委託を受けてインターンシップなどのプロジェクトを推進した。平成25年度は中心市街地全体の商店街に対象を拡大し、取り組みを進めている。

(5) 以上に掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業

事業名(実施時期)	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
79.自治体ネットワークセンター運用事業 (H9年度～)	岩見沢市	平成9年度に整備された自治体ネットワークセンターを拠点施設として、構築された電子図書館システム、双方向遠隔学習システム等の運用を行う。また、遠隔医療など産学官連携による新しいビジネスモデルの開発を進める事業である。	電気通信格差是正事業	【実施中】 事業は着実に実施されており、従業員の増加などに効果をあげている。
80.新産業支援センター整備・運営事業 (H15年度～)	岩見沢市	インキュベータールーム、レンタルオフィス、データベースルームを完備したインキュベーター施設を整備する事業である。	新事業支援施設整備費補助金	【実施中】 事業は着実に実施されており、従業員の増加などに効果をあげている。
81.地域産業経済の活性化による雇用創出事業 (H19～21年度)	岩見沢市雇用対策協議会	雇用の拡大や人材育成、就職促進を進めるため、経営者・人事担当者向けプログラム、スキルアッププログラム、起業支援プログラム、雇用情報提供プログラムなどを実施する事業である。	地域雇用創造推進事業	【完了】 これまで培ってきた地域資源を活用し、地域産業経済の活性化に向けた取り組みが推進され、中心市街地における雇用創出に効果があった。
82.にぎわい拠点づくりと地域産業経済の活性化による雇用創出事業 (H21～23年度)	岩見沢市雇用対策協議会	北海道教育大学生の芸術能力を活用した商店街活性化による雇用創出と、賑わい拠点づくりを通じた地域産業経済の活性化を目指す事業である。	地域雇用創造実現事業	【完了】 民間事業者と教育大学生とが連携を図って、商店街マップづくりやフリーペーパーの発行を行い、商業活性化や雇用創出に効果をあげている。
83.バス運行社会実験事業 (H21～23年度)	岩見沢市	バス事業者等と協議を進めながら計画を作成し、それに基づきバス運行の社会実験を行い、中心市街地へのアクセス性の向上を図る事業である。		【未着手】 バス事業者等との協議に時間を要し、事業は未着手である。

事業名 (実施時期)	実施主体	事業内容	支援措置	事業実績・実施効果
84. 買物共通バス券事業 (H20 年度～)	岩見沢市商店街振興組合連合会	参加店で買物をした際に、「買物共通バス券」を配布し、次回以降のバス利用時に金券として使用できる仕組みを検討する事業である。		【未着手】 本商店の合意形成と事業費の確保ができず、事業は未着手の状況で、当初見込んだ効果を得ることができていない。
85. データセンター等整備事業 (H23～24 年度)	コンソーシアム	国内外の企業データを管理するデータセンターを岩見沢駅土地区画整理事業区域内に整備する事業である。また、データセンターを核として、関連企業群の集積を図る事業である。		【着手済】 新たな技術特性を備えた施設を構築するため、事業計画の見直しに時間を要し着手が遅れたが、平成 25 年 5 月に供用開始となった。
86. IT ビジネスセンター整備・運営事業 (H19 年度～)	(株)プロジェクト IT 岩見沢	企業のサーバーを預かるハウジング機能や、IT 企業を対象としたレンタルオフィス機能が完備した施設の整備を行う事業である。		【実施中】 計画通り 5 社の創業・進出がなされ、有期雇用を含めて述べ 254 人の雇用が実現した。
87. 就職サポート事業 (H22 年度～)	岩見沢市	であえーる岩見沢にある就職サポートセンター「しごとひろば岩見沢」において、求職者のスキルアップや求人と求職のマッチングを図り、求職者の就職促進を図る事業である。		【実施中】 であえーる岩見沢に移転し、利便性も向上したことで、まちなかの雇用創出に効果をあげている。